

# 1 進路の決定について

## (1) 進路決定の一般的条件



### 進路希望先の決定材料ポイント①

本人の高校卒業後の進路（就職 or 進学）、将来つきたい仕事などを見据えたとき、どの高校や学科がその進路に合っているのかを考える。

→各高等学校の特色や教育方針、進学・就職状況（各校のホームページなどに掲載されています）を把握しましょう。

★高等学校への入学は「目的」ではなく、就職・進学への手段です。

### 進路希望先の決定材料ポイント②

本人の能力や適性を考える。

→希望の学校があっても、実力がともなわなければ入試に失敗してしまいます。また、自分の能力以上の高校に入学できても、学習に追いつけなくて焦りや不安を抱き、学習意欲をなくして退学していく場合もあります。

★3年間通学ができる高校を選びましょう！

### 進路希望先の決定材料ポイント③

興味のある高等学校のオープンスクールへ参加する。

→高校がどんな雰囲気の中で、どのような活動をしているのかを実際に見て、話を聞いて、入学後の自分の姿のイメージをもつことで、進路選択時の考えの材料につながります。

→しっかりと、本人の進路の目的意識をもたせることが大切と考えます。

### 進路希望先の決定材料ポイント④

家からの通学時間、通学手段を考える。

→3年間の通学において、体力面、経済面などの負担がないかどうかを確認しましょう。

### 進路希望先の決定材料ポイント⑤

家庭の経済状況をふまえ、3年間通学が可能かどうかを考える。

→家庭の経済状況によっては、奨学制度（6月に募集）を利用する方法があります。また、私立高等学校でも奨学制度（特待制度）をほとんどの学校が整備しています。

最終的には、本人の意思と責任で決定し、本人が十分に納得できるものであることが望ましいです。あくまでも、選択と決定の主体は生徒本人であり、保護者は子どもの考えをしっかりと聞き、その上で保護者の意志を伝え、互いに十分話し合っ、互いに納得できるものになるよう、親子での話し合いを持ってください。

## (2) 就職の場合の基本的な考え方

○本人や保護者の希望や意向にそって、学校が必要に応じて助言を行います、具体的には職業安定所が職業の紹介・斡旋を行って、本人の意志で決定します。

○親戚・保護者の友人・知人などの縁故による場合でも、職業安定所を通しましょう。

そうしておけば、勤務条件や給与などを事前に明確にしておくことができますし、あとのトラブル防止に大いに役立ちます。

## 2 推薦入試について

### (1) 推薦入試とは？

推薦入試とは、各高等学校が独自に定めた基準を満たす生徒について、一般入試に先立って試験を実施し、可否を判定する制度です。合格をした生徒は、一般入試の生徒よりも先に進路が決定します。私立高校については、入学金・授業料の減免とセットになっている場合もあります。

実際に推薦入試を受験するためには、以下の3つの条件を満たす必要があります。

○各高校側が定める基準を満たすこと。

○学習・生活など全ての面で他の生徒の模範となる人物とすること。

○中学校の推薦委員会の審査を経て、学校長の許可が下りること。

### (2) 推薦入試の基本方針

<模範となる人物の具体例>

#### ア 学習活動

○ 授業への取組にむらがない。(発表に積極的に取り組み、提出物等の忘れ物がない。)

○ 家庭学習にも力を入れて取り組んでいる。(内容の工夫が見られる。)

#### イ 行動や生活態度

○ 校則が守られている。

○ 礼儀正しく、場に応じた言動ができる。(できている)

○ 指導を素直に聴き入れ、改善できる。

○ 遅刻・欠席・欠課のない規則正しい生活ができる。(できている)

○ 係の仕事や掃除に、まじめに取り組むことができる。(できている)

○ 学校および学級行事に進んで協力することができる。(できている)

#### ウ 志願資格の具体的内容として

○ 定員および評定基準

○ 欠席日数(特に私立高校)

○ その他、各高校独自のもの

ただし、次に該当する事項の生徒は推薦しない。

- 各高校から示されている基準に達していない者（評価・欠席・人物）
- 問題行動等で、3学年になって保護者を呼んで指導を受けた者
- 学校の度重なる指導や説諭に対して改善の見られない者  
（洗髪・眉そり・その他の身だしなみ・生活態度についての指導）

### (3) 推薦入試のメリット・デメリット

#### <メリット>

- ・一般入試より早く進路先が決まります。
- ・入試が面接や作文などで行われ、教科の筆記試験がない場合があります。
- ・経済的なサポートがつく場合があります。

#### <デメリット>

- ・高校入学後、3月までしっかり受験対策を行う一般入試の人と比べて学力が追いつかない場合があります。
- ・入学後も「推薦合格者」という眼で、生活態度・学習態度が見られます。
- ・スポーツ関係で推薦された場合、簡単に部活動を辞めることができません。
- ・公立高校の場合、推薦入試で落ちた時に精神的に切り替えられず、一般入試に影響が出る場合があります。

### (4) 合格内定後推薦入試のメリット・デメリット

- ・推薦入試で合格後も、当然、しっかりした学習・生活態度で卒業まで過ごさないといけません。合格はあくまでも「内定」であり、最終的な「決定」ではありません。高校の入学式が正式な「入学許可」になります。合格した直後に、気がゆるんで異装や不要物の持ち込み、喫煙・万引きなどの犯罪行為を行うと「内定」が取り消され、他の高校の一般入試を受けることになります。
- ・あまりにも学習・生活態度がひどい場合は、「合格内定通知書」をあずかり、改めて合否の判断をその高校にゆだねる場合があります。推薦入試で合格した人は、より厳しい視点で学習態度・生活態度が見られることとなります。
- ・推薦入試だけではなく、推薦を受けずに一般入試で合格した人も同様です。

# 夏休み中のオープンスクールへの参加に関わって

生徒にも同様の内容を指導しておりますが、お子様の準備に関わりますので、保護者の皆様も必ずご確認ください！

- ・余裕をもって、集合時間、開始時間に行くこと。
- ・服装は、制服。
- ・筆記用具、水筒、タオル、これらを入れる手提げ（またはリュック）を必ず持って行くこと。
- ・大きな声で挨拶、返事をする事。
- ・携帯電話は、久賀中学校では原則、持ち込み禁止。

※ただし、送り迎え等で連絡が必要な場合は、保護者の責任のもと、携帯電話の使用を考えてください。なお、その場合、オープンスクール参加中や高校敷地内では電源を切り、活動終了後、敷地を出てから、電源をつけ、連絡に使用することが望ましいと考えます。

